

朝霞市立朝霞第一中学校 第1学年 技術・家庭科（家庭分野） 学習案内

【家庭分野の目標】

衣食住に関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。

【評価の観点・方法】

<評価の観点>

「生活や技術への関心・意欲・態度」、「生活を工夫し創造する能力」、「生活の技術」、「生活の知識・理解」の4つの観点で評価します。

<評価の方法>

① 生活や技術への関心・意欲・態度

積極的に取り組む意欲や態度を重視して評価します。主に、作業や実習、毎時間の学習への取組状況、作品の提出状況、学習プリントなどを評価します。

② 「生活を工夫し創造する能力」

習得した知識や技術を積極的に活用し、生活を工夫したり創造したりする能力を評価します。主に、既習事項の活用状況や実際の生活の場で工夫したり、創造したりする状況などにより多面的に評価します。

③ 「生活の技術」

実際の生活の場面で必要とされる基礎的な技術が身に付いたかどうかを評価します。主に、学習過程における技能の習熟状況、完成した作品などにより多面的に評価します。

④ 「生活の知識・理解」

実践的・体験的な学習活動を通して、基礎的な知識を身に付けているか、また、生活と技術とのかかわりについて理解しているかどうかを評価します。主に、学習プリントの記入状況、テストなどを評価します。

以上の4つの観点で、十分満足できると判断したものはA、おおむね満足できると判断したものはB、努力が必要なものをCと評価し、総合的に判断をして、5段階の評定をつけます。

時間	学習内容	学習のねらい
35 時 間	○ガイダンス 家族・家庭と子どもの成長 ○わたしたちと家族・ 家庭と地域 ・自分の成長と家族 ・家庭のはたらき ・家庭生活を支える仕事 ・わたしたちの家庭生活 と地域	・小学校の学習を振り返り、 3年間の学習の見直しをも たせる。 ・家庭のはたらき、家族の 役割について考え、自分の あり方を考えることができ る。
	衣生活・住生活と自立 ○自分らしく着る・快適 に着る ・日常着の活用 ・日常着の手入れ ・基礎縫いによるブック カバーの製作 ・環境に配慮した衣生活	・目的に応じた着方、個性を 生かす着方の工夫ができ る。 ・生活に合わせた無駄のない 快適な衣生活を工夫でき る。 ・日常着の手入れや補修方法 について学び、生活で実践 することができる。 ・自分らしさを表現しながら、 環境に配慮し、資源を大切 にした生活の実践について 考える。
	○生活を豊かにする物を つくる ・基礎縫いの練習 ・布を用いたものの製作	・布を用いた物作りを通して 生活を豊かにする工夫を考 えることができる。 ・材料や用具を正しく使い、 製作できる。
	○快適に住まう ・住まいのはたらき ・健康で安全な住まい ・住まいと地域	・住まいのはたらきを知り、 安全で快適な住まい方を 工夫することができる。 ・汚れに応じた清掃と手入 れ、用具や溶剤の安全な取 り扱いを理解する。